

東北日日新聞

本報創刊二十二年 郵政特准掛號認爲新聞紙類 社址 仙台市大町一丁目 電話 二二二二 印刷所 仙台市大町一丁目 電話 二二二二

郡内五ヶ所に

職紹設置の督勵

失業救済防止機關として 實現は明年度になるか

縣ではかねて失業者救済と石城郡小名濱、内郷、湯本として既設の平町外三市外に好間、磐崎及び郡外五ヶ所縣下各主要町村に職紹紹介に對し昭和六年に於て新設の職紹方を撰定中であつたに職紹紹介所設置方を希望が今回東北六縣並に北海望して來たが縣でもいよいよ道を新たに管轄する事とな記十ヶ町村に新設するらした青森地方職紹紹介所事二十日町村當局に對し業務局から最近の失業現象、(レ)督勵して來たが實現深刻な不況にかんがみ縣には明年度になるらしい對しこれが防止機關として

十餘萬圓を投じ

傾城トンネル改修

龜れつが甚しく危険の爲 遅くも來月下旬に着工

常磐線、湯本驛間傾城山事場買収その他に關する調トンネル(延長二千餘尺)は查をなしたが工事はトンネル地盤關係が、炭礦が地下探上の土を取り除く、即ち掘りよる結果かしばし、龜傾城山を真二つに掘り割る裂を生じその都度局部的に大工事なので工事費算も十事を施し來つたが最近右萬圓以上を要するものと目龜裂が山上にまで及び列車が来たその大体が土工の通行に非常なる危険を感ずる多数の夫夫を使用するに至つたので鐵道省でることになり従つて失業は緊縮時代にかゝらず者救済にもなるので非常、右鐵道の修繕工事を注目されてゐる、工事は急となり十九日東京鐵道局を要するものなのでおそくから用地係員が來平して工も來月下旬頃までには着工

消防會議所

七月迄には竣工か

平消防組では五年度事業とめ田万市議は二十日午後二時消防會議所の建設を計時知事官舎に安達内相に面劇し着々準備にかゝつての會し決議文を手交して引きあげた

平第一小學校に

少年消防隊を組織

火防宣傳等に盡力をなし 腕用ポンプの練習を行ふ

平町第一小學校では尋常五の有志發起で創設された、年以上の生徒をもつて少年消防隊を組織することとなつたので今度組織を財團法人目下準備中であるが、しに改める事となり十八日内務大臣に之が申請をなした

内相に失業 救済決議文

無産者から手交

内相の來阪を機とし大阪無産黨選出市議連を中心として失業救済に關する決議文を大阪の全無産大衆の名において内相に手交するた

喜多流

素詣大會

湯本、平、四倉、各喜多會主催の石城喜多流素詣大會は來る二十七日午前一時より住吉屋本店に於て開催されるが當日は東京より宗家の教授上野八郎、伊藤千六の兩氏が來會される筈であるが番組は左の如し

石城矯風會

組織變更

財團法人になる 社會事業のために大正帝の御大典記念として石城地方



株式 漫談

上場株の悲風さんたんも出來高増加の東株には春のそよ風 東味と諸株の兩けん引の力量くらべは興味がある

四倉市場

出廻り減少する

四倉市場二十日の總出荷は白蘭五百八十三貫黃蘭百七十九貫計七百六十二貫で出廻り相場は左の如く白三十三掛黄三十二掛であるが最盛期を過ぎ出廻りは漸次減少してゐる

蘭市况

出廻り減少する

松風、上野氏 拂下げの要を説くのは大

勿來大火の

り災救助金

去月二十三日夜の石城郡勿來町大日本炭礦坑夫長屋三十八戸の火災に對し縣では罹災救助法により罹災坑夫平發八時の列車で出福するを救助すべく調査中であつた

レポート

警親會々旗 平警親會では既報の如く發會式を舉行したので會旗を平町三井呉服店に依頼し製作中とのこと

詐欺漢捕はる

滋賀縣酒田郡鳥居村男海

生れ目下住所不定無職大久保銀之助(三三)は去る十二日午前十時頃盛岡市新田町野菜問屋齋藤嘉兵衛方に至り自分は平町野菜問屋古川四郎方の者だと稱し現金二十圓を詐取して逃走二十日午後二時頃平町をはい徊中逮捕された

出生

▲平町ゴマ澤一〇九 荒 浩三男正男 ▲平町屋町一八 横田勳二女富美子 ▲平町白銀町一 馬目長雄長男一也 ▲平町立町九(本籍) 農 大塚禮次郎(三)

平町堤ノ内一七

石田モト(三)

ジャリー一人買ひに對して藤村筋よく賣るといふ即ちジャリーは利食ひで藤村のは本邦製家筋の賣物らしいと

しんぶんの新聞

東京少年審判所の門をく

が、それらの社會事業家の手に引取られてゐるところが、相當社會に知られてゐる保護團體がその假面にかくれて、預つてゐる少年の生き血をしぼつてゐる。

帝都の賣出し廣告に： 借金が拂へないので。 破産か開店か。等々の店頭廣告が多くなつた。

各地の労働争議の内容が經濟闘争の色調がなくなつて、戰闘的色調を帯びて來たが、その戰術が決定的なものからスタートを切つてゐることは、考へなければならぬ問題であらう。

隨筆

どんぼの目

殿木 磐山

青葉はもう木々を埋めて、漸く春の感も脳裡を去り初めるやうになつた今日だ。燕は行人の頭上を滑走して再び高い電線を越えて、吾々が望むやうに、より以上の高い所に、吾々なら地位だが、即ち、雲を指して、飛んで去る。鶯の聲もどかだ。

「ホーホケキョ」の聲は一層吾々凡人の頭に初夏なれやの感を感じしめる。

トンボは電線であらうが、道路の上であらうが、所かまはずにとまつて、己が住む所は、皆己が支配のものである。目と顔付きを、目をくらくらと一廻轉させ。

それといたづら盛りの子供が、取らうとして近寄ればさうはさせじと、飛ぶそれが又悔むかの如く、直ぐに以前の場所へと戻る。

人を侮るもの、これ罰せざるべからずといふ神の助力と、我が人間の子供の忍耐とは、あのやうな、すばしっこい彼トンボを難なく、さらへせしめる。

腕白小僧の手につかまへられたるトンボの助は、いろ／＼辱められた上、胴切り、頭切り、尻尾に草を差し入れるなど、あらゆる刑罰を宣告、執行された揚

句のはて、野垂れ死にとは可愛想な極みである。けれども天罰か？

二

私の家は寺の後方に位してゐる。

この寺は、本家寺にあらずして、別家寺とも言ふべきもので、寺と言つても寺はなし、唯、墓のみである。昔は大きな寺があつたとかだから僧侶のゐる筈もない。若し居るとしても家がなにか、貴郎の家へ下宿させてくれなんて、言はれたら大變だ。

その時は良い家を見つけて越してしまふまでだ。

さてこの墓掃除人が、通稱六六、連れ合ひがお六、と言つて、實は權六でも、お六でもない。

實際は名前などは知らないが、ろくでもないから、まあ六でもしよう付けののだが、と呼ばれ、權六さんは六十位、お六さんは見たところ五十には間がありさうな、無いやうな面つき、勿論家は遠くで、毎日お通ひである。

この二人、誰が仲人したのか、馬鹿に氣性のひつたりあつた御夫婦で、しかも良い人かと言ふと、さうではない。

まあどちらかと言へば、悪い方に偏した御人である。

（續）

暑い 暑い

いや、暑いここネー
皆さん行きましようヨ
平町二丁目

藤市へ

- あづきアイス 五錢
 - アイスクリーム 十錢
 - 水ゼイキ水 十五錢
 - ミルクゼイ 二十錢
 - 水 四錢
 - 水あづき 十錢
 - 同いちご 八錢
 - 同しら玉 十錢
 - 同れもん 八錢
 - 同玉子水 十五錢
 - 同ぶどうし 八錢
 - 同ラムネ 十錢
- 出前は早く届けます
御注文は電話
三〇五番へ

看護婦急派の求め

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

今般共融社ヲ設立左ノ業務ヲ取扱ヒマヌニ付キ御用命ヲ希土マヌ
金融、土地、建物、電話其他ノ仲介
貸金ノ取立及賣掛代金整理、家出人ノ搜索婚姻、其他ノ身元内債
本社 石城郡平町字十五丁目十二番地
元平警察署刑事係部長
共融社主幹 青田保太
電話呼出八〇四番

専門 内科一般

内科ハ何テモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五

川井内科診療所

電話七三三番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

正確な 体温計 寒暖計 関内藥局

緑した、る初夏に
かるく涼しき丈夫な白靴

大塚支店

△大塚獨特點
舶來防水白靴 六圓
七圓

大塚支店 製靴部 運動具部
平町 電話七〇二番

外科一般（入院隨意）

花柳病科

平町六丁目（橋際）

木村科醫院

電話三〇九番

口腔齒科治療

原齒科醫院

平町土橋通り
電話三二二番

夏物御案内

僅かの氷下非常によく冷える 丸はん冷蔵庫
夏の衛生に必要な 鉢帳、食卓覆、真夏にも涼味たつぷりな 藤製、家具類、可愛御子様の 小兒車各種、運動と健康に 岩谷冷蔵器、夏のお座敷には、すだれ屏風、煙草盆、硝子盆、ウチワ置、掛、かやの釣手其他

岩谷冷蔵器 丸はん
代理店 平町三丁目
電話三五九番